

プロジェクト ナマコ資源増大チャレンジ

目標

・ナマコ種苗生産数 R4：17.6万個 → R10：50万個

挑戦する内容

- ・増産計画策定に向けた推進体制の構築
- ・大型種苗生産等への取組

関係者の声
＝対話

- ・ナマコ資源が減少しており対策が必要（漁業者）
- ・ナマコ大型種苗生産施設が必要（市町村）
- ・大型種苗増産計画を策定し、増産への取組が必要（市町村）

役割分担

- ・漁業者：ナマコ資源量調査への協力
- ・産技センター：ナマコ資源に関する基礎調査、効率的な種苗放流方法の検討等
- ・種苗生産機関：大型種苗生産に係る取組等
- ・県：種苗生産機関への支援、増産推進体制づくり

変革後の姿

- ・効率的な種苗放流による生残率の向上、種苗生産施設の機能強化による種苗の大型化や生産数の増加で持続可能なナマコ漁業が実現

令和7年度計画

挑戦する内容

- 1 増産計画策定に向けた推進体制の構築
 - ・市場調査（5地区）
 - ・種苗放流実施状況及び放流環境調査（44か所）
 - ・ナマコ資源増大に向けた生産体制づくりのための増養殖検討会の開催（2回）
- 2 大型種苗生産等への取組
 - ・先進地の技術を取り入れた大型種苗の増産
 - ・生産能力の把握と県内需要の調査（県内沿岸44漁協）
 - ・種苗増産計画の策定
 - ・東青地区ナマコ種苗生産よろず相談連絡会議の開催（2回/年）
 - ・東青地域の漁業者を対象としたナマコ種苗生産技術習得研修の開催（6地区）
 - ・漁港を活用した稚ナマコの育成試験、漁港内でのナマコ増殖（2漁港）



ナマコ人工採苗作業



稚ナマコの育成試験

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・ナマコ種苗増産計画策定に向けた増養殖検討会（6月、10月）や県内需要調査（県内沿岸44漁協）で意見交換